

令和3年第8回佐久穂町議会定例会一般質問通告者及び答弁者
(令和3年8月25日現在)

順位	質問者	質問要旨	答弁者	時間
1	10番 出浦修身	1、(仮称)道の駅「八千穂高原IC」建設事業の事業推進について 現在進行中の題記の建設事業について以下の通り質問いたします。 (1) 事業スケジュールは計画通り進んでいますか。 (2) パブリックコメントについて (3) (仮称)道の駅「八千穂高原IC」基本設計ほか業務委託について (4) 関係先及び地域への折衝並びに説明について (5) 事業を成功させるための今後の事業推進について	町長	60分
		2、文化財の保管管理策の強化について (仮称)佐久穂文化財等収蔵館に収蔵している「輿水太仲コレクション」の保管管理対策の強化について	教育長	
2	4番 竹内達朗	1、ごみの減量化、リサイクル推進について (1) 粗大ごみの回収について ①実施場所の変更、事前予約制はできないか ②職員の負担軽減が必要ではないか (2) 家庭ごみの回収方法について ①一部の種類について回収場所をまとめること ②家庭用コンポストの活用状況は (3) 環境教育の取り組み ①小中学校ではごみ問題をはじめ、どのように環境教育が行われているか ②町の総合計画とSDGsを学習に結びつける取組について	町長 教育長	60分
		2、姉妹都市との交流事業 (1) パンデミックの中、いかに交流事業を維持(発展)させるか ①両市町間の防災協定等 ②空き家対策としての情報提供 ③職員の人的交流の可能性 ④野菜など生産品・特産品販売への支援	町長	
3	5番 高見澤利博	1、千曲病院の運営について (1) 千曲病院の今後の戦略方向性について (2) 人間ドックの取り組みとお考えは (3) 創生戦略はどう進めていくのか	町長	60分
		2、「ガン」教育について ガン教育は推進していくべきでは	教育長	
		3、地方版総合戦略について 地方版総合戦略の今後のビジョンは	町長	
4	2番 須田芳明	1、新型コロナウイルス対策の現況と今後の対応について (1) 県による新型コロナウイルス特別警報発令に伴う佐久穂町独自の対応策について (2) 各種行事、イベント等の実施について (3) コロナ禍における町有施設の利用について (4) 住民への対応と周知について (5) ワクチン接種の啓蒙について	町長	40分

順位	質問者	質問要旨	答弁者	時間
5	14番 高見澤春野	<p>1、防災、減災、治水対策について</p> <p>(1) 災害時の「避難」対策</p> <p>①指定緊急避難所(90か所)の考え方と見直しの必要性</p> <p>ア、現実的ではない場所があるのでは</p> <p>イ、防災計画見直しの必要性</p> <p>ウ、各地区公民館等に非常用備品等を備える必要性</p> <p>②要支援者の避難計画(個別避難計画)の作成状況</p> <p>ア、消防団作成の支えあいマップとの共用、連携</p> <p>③福祉避難所の考え方</p> <p>ア、福祉避難所対策をどのように考えているか</p> <p>イ、指定避難所のほかに補完的役割をする施設との連携</p> <p>④西小体育館は避難所としてどのように整備されたのか</p> <p>(2) 防災教育の必要性</p> <p>①地学を取り入れた自然教育</p> <p>(3) 治水対策について</p> <p>①流域治水の今後をどう考えるか</p> <p>②雨水貯水タンク設置に対しての助成制度を考えては</p> <p>③越水可能性のある水路の点検</p> <p>④河川浚渫事業の恒常化の必要性</p>	町長 教育長	60分
6	6番 佐々木信幸	<p>1、(仮称)道の駅八千穂高原ICの防災機能について</p> <p>(1) 道の駅の災害時の避難所としての機能をどのように考えているか</p> <p>2、若者・子育て世代の移住・定住を促進するための施策について</p> <p>(1) 2045年「1学年で2クラスを維持できる人口」70人の確保の目標は達成できるのか</p> <p>(2) 受け皿としての住宅(若者定住促進住宅)宅地造成の必要性をどう考えるか。民間との連携をどう進めるか。</p> <p>(3) 住宅新築助成金の活用状況は現状の内容や受給資格は適正であるか</p> <p>(4) 若者のUターン、Iターンを促進するための施策は</p> <p>(5) 佐久穂町に住む魅力に気づき、動機を養う愛郷教育、キャリア教育をどう進めるか。</p>	町長 町長 教育長	60分